

証券コード：5714

第121期 中間報告書
株主のみなさまへ

BUSINESS REPORT

2023/12/Vol.66



DOWA



2023年度（2024年3月期） 中間期の連結経営成績について

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2023年度（2024年3月期）中間期における当社グループの事業の状況と経営成績をご報告申し上げます。

当第2四半期における当社グループの事業の状況につきましては、自動車生産が回復に向かい、自動車関連製品およびサービスの受注が増加しました。情報通信関連製品は中国経済の停滞等により販売が減少しました。また、新エネルギー関連製品は太陽光パネル向けの堅調な需要を受けて、当社製品の販売は増加に転じました。環境・リサイクル関連サービスは廃棄物処理の受注が堅調でした。相場環境につきましては、前年同期と比較して平均為替レートは円安ドル高となりましたが、銅、亜鉛およびPGM（白金族金属）の平均価格は大幅に下落しました。一方で、エネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、電力代、燃料費および副資材費等のコストは前年同期と比較して増加しました。

これらの結果、当第2四半期の売上高は前年同期比7.7%減の3,707億円、営業利益は同52.5%減の142億円、経常利益は同40.9%減の218億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は同42.0%減の131億円となりました。

当社グループは、今後も企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

代表取締役社長 **関口 明**

2023年度中間期

売上高
3,707 億円
 (前年同期比 △7.7%)

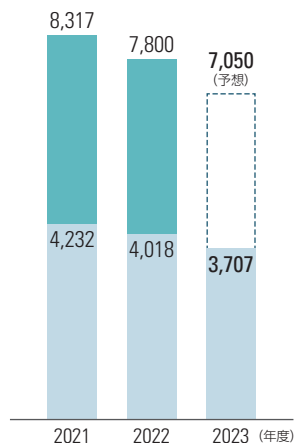
営業利益
142 億円
 (前年同期比 △52.5%)

経常利益
218 億円
 (前年同期比 △40.9%)

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益
131 億円
 (前年同期比 △42.0%)

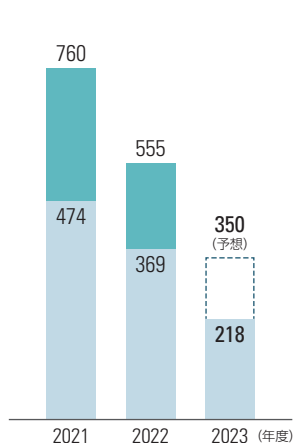
売上高

■ 中間期 ■ 通期 (単位：億円)



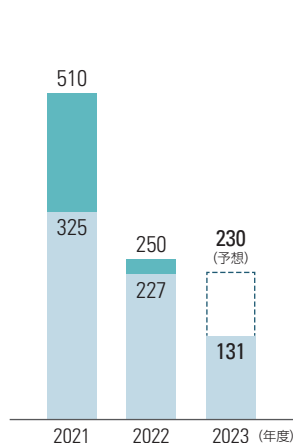
経常利益

■ 中間期 ■ 通期 (単位：億円)



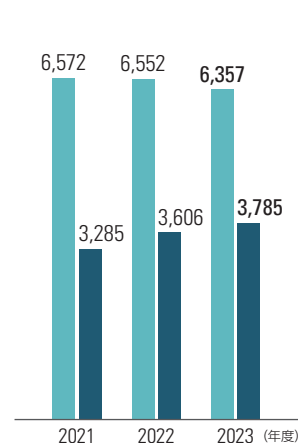
親会社株主に帰属する
四半期（当期）純利益

■ 中間期 ■ 通期 (単位：億円)



総資産／純資産*

■ 総資産 ■ 純資産 (単位：億円)



※2023年度の総資産および純資産については、中間期実績を記載しています。

DOWAの熱処理事業

DOWAサーモテック

将来に向けた事業展開

● 熱処理とは

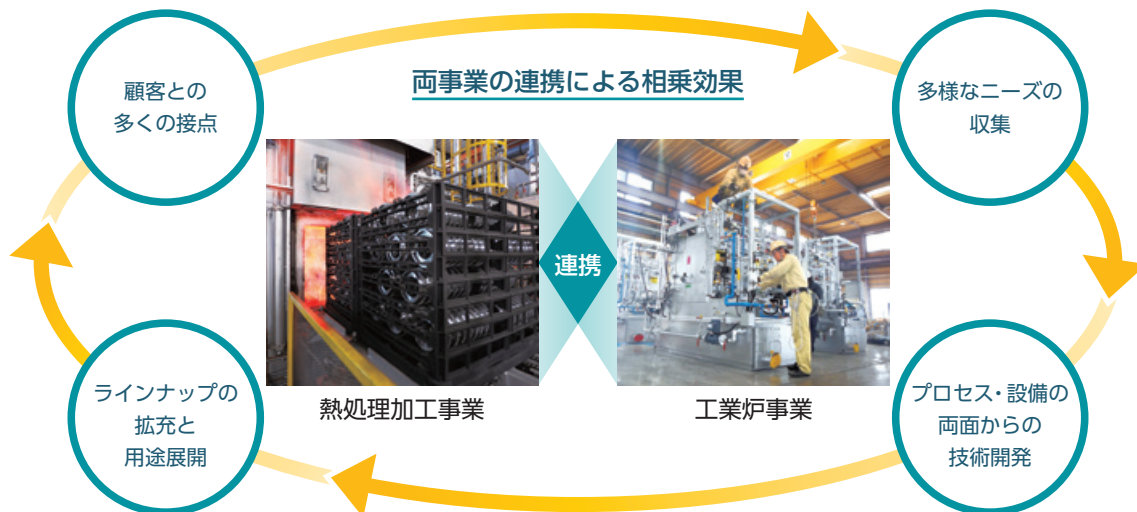
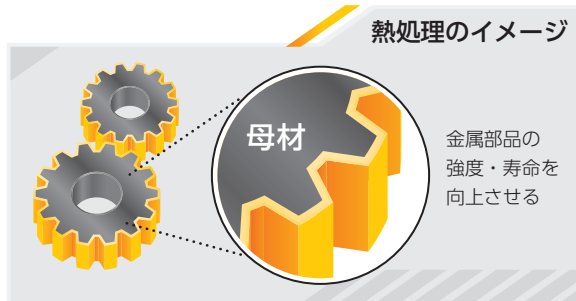
金属部品に熱を加えることにより、表面の硬度を変化させ、強度・寿命などを向上させる処理のことです。自動車や建設機械、産業用ロボットなどに使用される様々な金属部品に熱処理が施されています。

● DOWAの熱処理事業の強み

当社の熱処理事業は、顧客からお預かりした金属部品に熱処理を行う熱処理加工事業と、熱処理炉の設計・製造から販売、設置工事およびメンテナンスを行う工業炉事業で構成されています。

2つの事業を有する総合熱処理メーカーとして、両事業の連携により顧客から多様なニーズを収集し、プロセス・設備の両面からの技術開発を行うことで、優れた製品・サービスを実現していることが当社の熱処理事業の強みです。

熱処理のイメージ



熱処理事業は、自動車産業の発展に合わせて成長してきました。他方で、自動車産業への依存度が高いという課題がありました。そのため、自動車産業の環境変化に対する迅速な対応と、建設機械や産業用ロボットなどへの販売強化によって、収益の安定化に取り組んでいます。

自動車産業の環境変化への対応

持続可能な社会の実現のため、カーボンニュートラルへの対応が世界的な課題となっています。特に自動車部品の熱処理には多量のCO₂排出が伴うことから、CO₂排出量の少ない熱処理炉が顧客から強く求められていました。そこで当社は、従来炉と比較して、熱処理におけるCO₂排出量を最大97%削減できる次世代型熱処理炉「Z-TKM」を開発し、2023年度より販売を開始しました。

カーボンニュートラルは、自動車産業に限らず、製造業全体の課題であることから、自動車関連市場だけでなく、様々な市場への拡販にも取り組んでいます。



次世代型熱処理炉「Z-TKM」

新たな用途や市場への進出

熱処理が必要とされる新たな用途のひとつに、航空宇宙産業があります。旅客・貨物の増加による航空機生産の増加や、宇宙ビジネスの拡大により、今後の長期的な成長が見込まれます。

高い安全性と技術力が求められる用途であることから、当社では受注の前提条件となる航空宇宙産業品質マネジメントシステム認証を国内およびインドの拠点で取得しています。これまでに培ってきた熱処理技術を活用することにより、新たな用途・市場へ積極的に進出していきます。



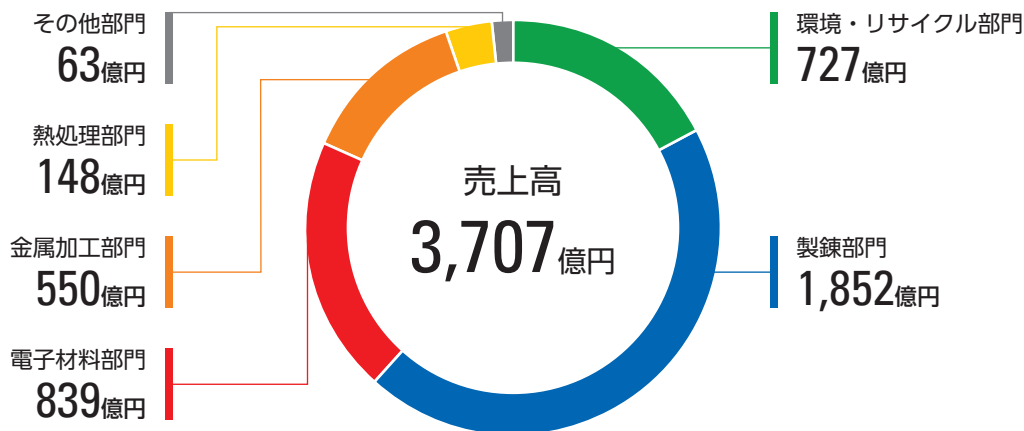
新たな用途

DOWAの熱処理事業は、カーボンニュートラルをはじめとする社会の要請や顧客ニーズを確実に捉えることにより、これからも成長を目指していきます。

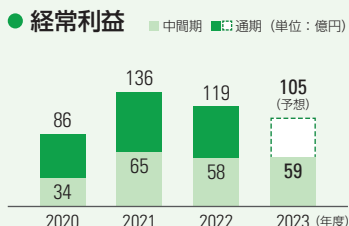
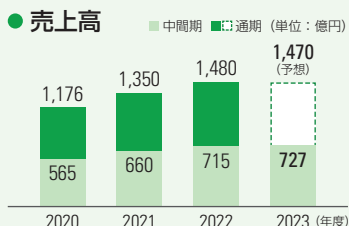
部門別の営業状況

部門別連結売上高構成 (2023年度中間期)

※各部門の売上高には、連結調整による消去分474億円を含んでいます。



環境・リサイクル部門



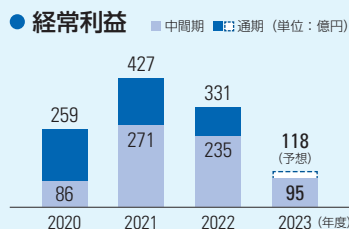
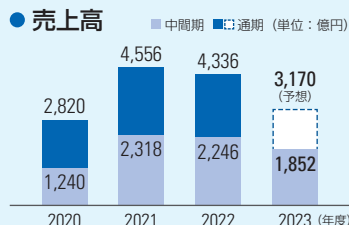
2023年度中間期



溶融・再資源化処理施設

廃棄物処理事業では焼却の処理量および処理単価は堅調に推移しました。また、溶融・再資源化の処理量は増加しました。土壌浄化事業では土壌浄化や不燃性廃棄物の再資源化の受注が堅調に推移しました。リサイクル事業では当社製錬所向けのリサイクル原料の集荷量は増加し、家電リサイクルの処理量は減少しました。東南アジア事業では廃棄物処理の受注が前年同期を下回りました。一方で、エネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、燃料費や副資材費等のコストが増加しました。また、営業外損益では外貨建債権の為替換算差益を計上しました。

製錬部門



2023年度中間期

● 売上高
1,852億円 (前年同期比 △17.5%)

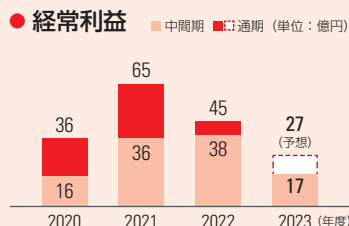
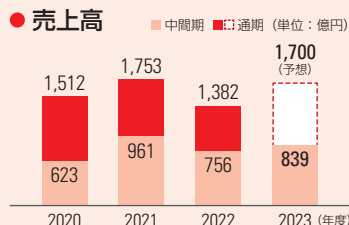
● 経常利益
95億円 (前年同期比 △59.7%)



使用済み自動車排ガス浄化触媒

貴金属銅事業では金、銀および銅の生産量が減少しました。PGM事業では使用済み自動車排ガス浄化触媒からの金属回収量が増加したものの、PGMの平均価格が前年同期比で大幅に下落した影響を受けました。また、デリバティブ評価損失が拡大しました。亜鉛事業では亜鉛の生産量は前年同期を下回りました。また、電力代等のエネルギーコストが大幅に増加しました。一方で、亜鉛の棚卸資産の簿価切下額による損失幅は縮小しました。営業外損益では海外亜鉛鉱山の運営会社において持分法投資利益を計上しました。

電子材料部門



2023年度中間期

● 売上高
839億円 (前年同期比 +11.1%)

● 経常利益
17億円 (前年同期比 △54.1%)

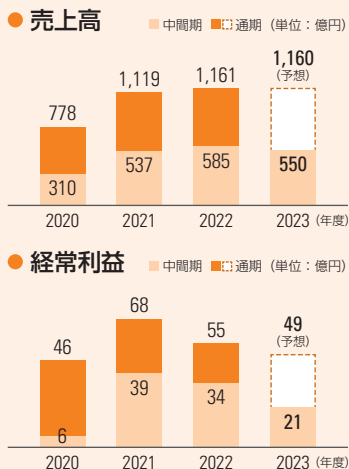


銀粉

半導体事業ではウェアラブル機器向けの近赤外LEDおよび受光素子 (PD) の販売が減少しました。電子材料事業では太陽光パネル向け銀粉の販売は前年同期比で減少したものの、堅調な需要を受けて当第2四半期から増加に転じました。一方で、半導体事業と電子材料事業では、平均為替レートが前年同期比で円安ドル高となったことが業績に寄与しました。機能材料事業では磁性粉の販売が低調に推移しました。また、営業外損益ではサンプル収入が増加しました。

部門別の営業状況

金属加工部門



2023年度中間期

● 売上高
550億円 (前年同期比 △6.1%)

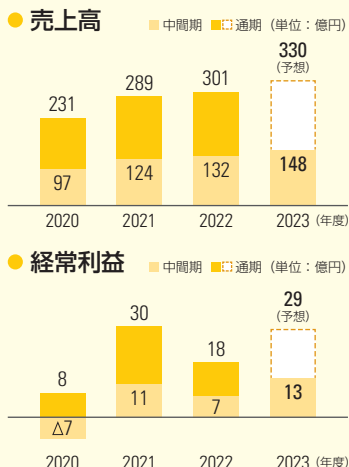
● 経常利益
21億円 (前年同期比 △39.1%)



伸銅品

伸銅品事業では当社の自動車向け製品の販売は前年同期比で減少したものの、自動車生産が回復に向かう中で、サプライチェーンにおける部品在庫圧縮の動きが緩和されたことを受け、当第2四半期から販売が増加に転じました。情報通信関連製品の販売は中国経済の停滞等により減少しました。また、デリバティブ評価益が縮小しました。めっき事業では自動車向けの需要が堅調に推移しました。回路基板事業では産業向けの販売が堅調に推移しました。

熱処理部門



2023年度中間期

● 売上高
148億円 (前年同期比 +11.9%)

● 経常利益
13億円 (前年同期比 +75.4%)



熱処理加工品

熱処理事業では自動車生産の回復に伴い熱処理受託加工の需要が上向いたことから、国内外における受注が増加しました。また、コストの増加に対する一時金収入が一部の顧客からありました。工業炉事業では設備販売およびメンテナンスの需要が前年同期を上回りました。

／ ゴミ問題や資源循環を楽しく学べる冊子 ／

DOWA × うんこドリル

ゴミと資源 を制作

DOWAグループは、(株)文響社とのコラボレーションにより、ゴミ問題や資源循環を分かりやすく、また、楽しく学べる冊子「DOWA×うんこドリル ゴミと資源」を制作しました。

「うんこドリル」は、子どもたちに大人気の学習ドリルで、漢字ドリルや計算ドリルなど様々な種類の教材が発行されています。ユーモアたっぷりの例文やイラストが特徴で、子どもたちが楽しく学べる教材として人気を博しており、シリーズ累計の発行部数は1,000万部を突破しています。

このたび制作した「DOWA×うんこドリル ゴミと資源」は、ゴミの分別やリサイクルの大切さなどについて、クイズを通じて子どもたちに楽しく学んでもらうことができます。より多くの子どもたちに学んでもらうため、DOWAグループの主要拠点近隣の小学校に向けて、本冊子の配布や、社員による出前授業も行っています。

持続可能な社会の実現に向けては、将来を担う子どもたちがゴミ問題や資源循環に関する正しい知識を身につけ、行動することが望めます。DOWAグループは、本冊子の活用など、子どもたちへの環境教育を継続して行うことにより、持続可能な資源循環型社会の構築に貢献していきます。



DOWA×うんこドリル ゴミと資源
© Y.F/BKS



小学校での出前授業（秋田県大館市）

本冊子の内容はWebからも
ご覧いただけます。



URL

[https://unkogakuen.com/
manabi/wastes_and_resources](https://unkogakuen.com/manabi/wastes_and_resources)

取締役・監査役



代表取締役会長
山田 政雄



代表取締役社長
関口 明



取締役
品質保証、
環境・安全 担当
飛田 実



取締役
技術、事業開発、
知財 担当
菅原 章



取締役
人事部長
総務・法務 担当
片桐 敦



取締役
経営企画部長
経理、財務担当
細野 浩之



社外取締役
小泉 淑子



社外取締役
佐藤 公生



社外取締役
柴山 敦



監査役（常勤）
木下 博



監査役（常勤）
福澤 元



監査役（非常勤）
大庭 浩一郎



監査役（非常勤）
小室 真吾

執行役員



執行役員
DOWAエコシステム(株)
代表取締役社長
矢内 康晴



執行役員
DOWAメタルマイン(株)
代表取締役社長
須山 俊明



執行役員
DOWAエレクトロニクス(株)
代表取締役社長
鈴木 健彦



執行役員
DOWAメタルテック(株)
代表取締役社長
鬼王 孝志



執行役員
DOWAサーモテック(株)
代表取締役社長
山田 潔



執行役員
DOWAテクノロジー(株)
代表取締役社長
猪股 寛成



執行役員
DOWAマネジメントサービス(株)
代表取締役社長
若林 英一

会社概要

創業	1884年9月18日
設立	1937年3月11日
資本金	364億37百万円
DOWAグループの社員数	約7,800人
主な事業内容	環境・リサイクル事業 製錬事業 電子材料事業 金属加工事業 熱処理事業

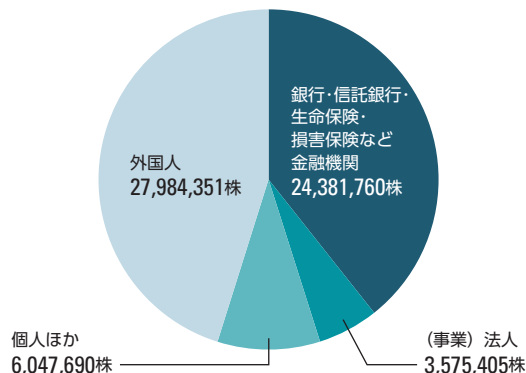
株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済み株式の総数	61,989,206株
株主数	9,278名

主要子会社

DOWAエコシステム(株)	環境・リサイクル事業会社
DOWAメタルマイン(株)	製錬事業会社
DOWAエレクトロニクス(株)	電子材料事業会社
DOWAメタルテック(株)	金属加工事業会社
DOWAサーモテック(株)	熱処理事業会社
DOWAテクノロジー(株)	技術サポート会社
DOWAマネジメントサービス(株)	事務サポート会社

所有者別株式分布状況



大株主

	持分比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	16.01%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9.27%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	7.82%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4.58%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	3.19%
藤田観光株式会社	3.12%
全国共済農業協同組合連合会	2.86%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	2.35%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2.15%
株式会社みずほ銀行	1.59%

当社は自己株式1,855千株を保有しており、持分比率については自己株式を控除しています。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告した日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
公告方法	電子公告 (https://www.dowa.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
ホームページアドレス	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
株式に関するお手続き よくあるご質問	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal QRコードからもアクセスいただけます。 (「QRコード」は、(株)デンソーウェブの登録商標です。)



DOWAホールディングス株式会社

〒101-0021

東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX22階

電話番号 03-6847-1100

ホームページアドレス <https://www.dowa.co.jp/>

表紙撮影場所 DOWAハイテック(株) めっき工場

